

火災シーズン



いますぐ防火診断

電気・ガス器具は再点検を

十一月の声を聞くにつれ、火災の多くなる季節が近づいてきます。火災が非常に多くなり、そのうち電気・ガス器具の故障が原因となり、大火に発展する事例が少なくありません。そこで、今月は、消防署で防火についていろいろ聞いてみました。

消防署の資料によると、十月末までに市内で発生した火災は、前年同月末を三件上回る五十二件の多くを占め、損害額はなんと六千六百万円にも上っています。原因別にみるとタバコの不注意、子どもの火遊び、石油ストーブの取り扱い不注意などが大半を占めています。生活水準の向上にともない、私たちの家庭内には、電気製品、プロパンガス、石油ストーブ、石油コンロ類が「合理的な家庭はこれ」とばかり急速にはいりこんでいます。ところが、

用を誤ると火の元々となり、明るい家庭も焼土と化してしまいます。署員は口をそろえて「防火診断で家庭の安全を確認し、電気・ガス器具を意図的に安易な気持ちで交換してはならない」と注意を促しています。これらの器具は、買い求める時に正しい使用方法をしっかりと聞き、点火したら必ず確認を怠らないでほしいとのことです。

この便利ものに匹敵し、消防関係者の頭を悩ますものに、子どもの火遊びによる火災があります。とくにこれは小学校の低学年の子どもの多いといわれます。年少児をもつ家庭は、マッチ、ライター類を簡単に持ちだせないところに置き互いに注意しあいたいものです。

また同署では、二十六日から二十四日まで、火災予防運動を前にとくに次のことを注意するよう呼びかけています。

- ▼一般家庭では、電気、ガス、石油器具、アイロン、カマド、煙突の再点検、整備を必ずする。
- ▼事業場では、モーターの過熱、ろう電（素人工事）のタコ足配線、火気取扱い作業中は近くに燃えやすいものはおかない。
- ▼火事はすくなく一九番（消防署）へ

家庭児童相談室開設

悩みごとに答える機関

青少年の保護育成に力をつくす市は、先導する吉原市では、十月一日から福祉事務所内に「家庭児童相談室」を開設しています。

この相談室の目的は、十八才までの児童生徒、その家庭を主に対象としているもので、しつくりいかなない親子関係、交友関係の悩み、長兄など家庭を背景におこる心配ごととの相談に、早期指導に役立てようとするもので、個々の相談には、同所の児童係、青少年問題に熱意ある民間人が専門にあたっています。いうまでもなく、家庭は児童育成の基礎であり、この人間形成の大きな役割を占めています。ある補助員が語っています。

「子どもの教育は、親が責任をもつておこなうべきで、他人さまにまかせたものではない」と結論づけています。

ところが現実には、マスコミの商業主義、社会風潮が暴力的、性的、享乐的傾向を必要以上に刺激して、青少年を悪の道におとし入れようとするところ、共かせた親子関係から生み出される「鍵つ子」といわれる児童の愛情問題など、社会の進歩とともに想像もつかない複雑な問題が発生してきます。

問題児といわれる青少年は、一夜にして生まれるものではなく、疑わしい行動がともない長期間の温床で育てられた「黒い芽」が非行となつて表われ、とりかえしのつかないものになっていくのです。

「子どものことだ、そのうちによくなるだろう」「他人さまの子どものことだ」という考え方は間違っているのです。私たちは力をあわせ、あの子どもの子もみんなどかか開けた家庭児童相談室を活用し、よりよい家庭の進歩とともに想像もつかない複雑な問題が発生してきます。

幸せ築く郵便貯金

貯金額も二兆円(国)突破

みなさんの郵便貯金が、各種金融公庫や名神高速道路で二兆円を突破しました。この郵便貯金は、私たち個人の生活を安定させ、豊かにするばかりではなく、大蔵省資金運用部を通じて、多くの公共事業に貸し出され、住みよい郷土をつくるために役立っています。

吉原市も現在四億円の貯金をふやすために十一月から「住みよい郷土をつくる郵便貯金奨励運動」として、みなさんの協力を求めています。

夜間外出の時間変わる

青少年の夜間外出の制限時刻が十一月一日から午後七時となりました。夜遊びや、若い女性の夜の一人歩きはまちがいのもとです。各家庭や職場でも注意して防犯につとめましょう。

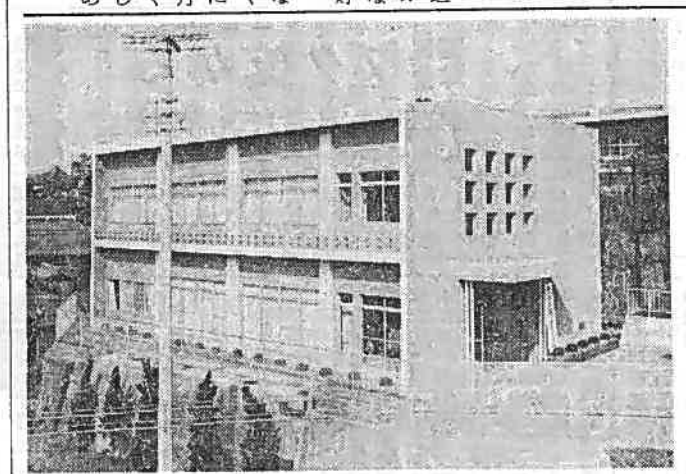


火事だ、泣いて消すより笑って用心

今泉会館が完成

「今泉水の上の高台に近代的な「今泉会館」がこのほどできあがり、十月二十六日落成式が行なわれました。同会館は、今泉地区の住民が「今泉」という地名となつて百周年たつたのを記念して、旧今泉村役場跡(市立図書館南側)に、地元区有財産など総工費約千二百萬円で建てたものです。

△建て物は、鉄筋コンクリート二階建て、約三二六平方メートル、一階は十七室、二階は六室、四階の和室、二階はステーション付集会所などがあります。



スマートにできあがった、今泉会館(図書館南側)

稲刈りのヒケツ

市農政課および各農協で、収穫期をむかえ、良い米を送り出すために次のことに注意してほしいといっています。

▽色沢がよく、食味のよい米を取るための適期刈取り

▽刈割米、くだけ米を出さないために乾燥に注意する

▽米選機に二回かけ、良い等級の米に調整する

▽計量を正しく、荷造りをしつかりするようにしましょう

重度精神薄弱児に

扶養手当が支給される

精神薄弱児の福祉対策として、はじゆら、児童福祉法による収容施設や通園施設などに収容し、保護、教育、職業訓練などをほどこし、また各小学校に特殊学級を設置し、特別の教育をほどこしてまいりました。

しかし程度が重い精神薄弱児に対しては、収容施設もなほとんど施策がなされていません。今回、重度精神薄弱児扶養手当が制定され、重度精神薄弱児の福祉の増進を図ることとなりました。

重度精神薄弱児扶養手当のあらましは次の通りです。

- 一、重度精神薄弱児とは、20才未満であつて、精神の発達が非常に遅く、日常生活が単独でできない状態にあるひと
- 一、重度精神薄弱児を常時保護する父母または養育者がいないひと

一、この手当の支払期日は、毎年一月、五月および九月の三期で、それぞれ前月までの分を支払うことになっています。

一、手当額は重度精神薄弱児一人につき月額千円となつていますが、次の場合には支給されません。

- ① 受給資格者が前年に二十万円を超える所得があつたとき
- ② 受給資格者の配偶者が前年に所得税を課せられる程度の所得があつたとき

重度精神薄弱児をお持ちの方で、お心当りの方は保険課でご相談に応じていますから、お心当りの方には保険課で相談してください。

市役所の執務時間変更

○ 執務開始 午前8時45分
○ 終 午後4時30分

※ ご用事のある方はお間違いないようにお願ひします。



農業改良に融資

能率的な農業技術や合理的な生活方式の導入に必要な資金を融資する新しい制度ができました。

この融資制度は農業改良資金といひ、大要は次のとおりです。

- ▽技術導入資金
- ▽農業生活改善資金
- ▽農業後継者育成資金
- ▽貸付限度額は融資の目的により異なりますが、いずれも無利息です。

くわしいことは各農協、市農政課へ

国債買います

戦没者の妻に対する特別給付金の国債を持つている方は一人賦札十二枚を一〇万円で購入することになりました。

ただし高令者を先順位とし、吉原市の買上げ割当は五人となつております。

該当者は

- 一、現在生活保護法により生活保護を受けている方
- 一、現在生活扶助を受けていないが保護を要する状態にある方です。

手続きは福祉事務所で行ないますから相談してください。

五千円の落とし主ヤイ

吉原警察署では9月29日午後、本町一丁目の友愛商會で買物にきて五千円札を落した主婦をさがしています。

今月の納税

保険税 8期分
(早めに納めましょう)

国民の祝祭日には
「日の丸」を揚げましょう
11月23日 「勤労感謝の日」

「おふせ」サギにご注意

最近、市内で吉原仏教会の名をかたり、家庭や事業所から多額の「おふせ」を詐取してあるものがあり、関係がないことですから十分ご注意ください。

編集だより

「広報よしわら」についての意見、ご希望をどしどしお寄せください。おて先 市長公室広報係